

日々はOracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2020年11月9日月曜日

ファセット検索の結果をCSV形式でダウンロードする

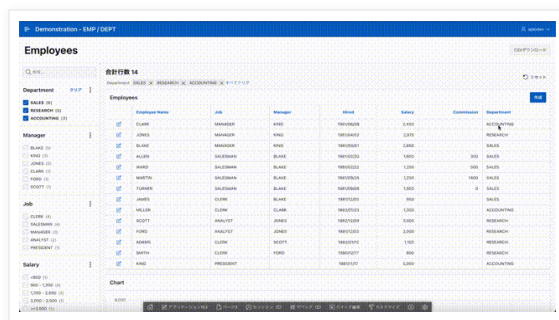
ファセット検索で使用しているクラシック・レポートの結果を、Oracle APEX 20.2で追加されたAPEX_DATA_EXPORTのAPIを使用して、CSV形式で出力してみます。クラシック・レポートの標準機能でCSVダウンロードは可能ですので、この通りに実装するケースは少ないと思います。API自体は、XLSX、PDF、HTML、CSV、XMLおよびJSON形式の出力をサポートしています。

CSVダウンロードの実装は、以下の記事で作成したAPEXアプリケーションに追加します。

ファセット検索にチャートを追加する

<https://apexugj.blogspot.com/2020/02/faceted-search-with-chart.html>

ダウンロードは以下のように動作します。



ダウンロードの処理を行うプロシージャff_csv_downloadを作成します。コードは以下になります。

APEX_EXEC.OPEN_QUERY_CONTEXT、APEX_DATA_EXPORT.EXPORT、APEX_EXEC.CLOSE、APEX_DATA_EXPORT.DOWNLOADの4つのAPIを呼び出しているだけのシンプルなコードです。

```
create or replace procedure ff_csv_download(
    p_app_page_id          in number
    ,p_region_static_id in varchar2
    ,p_file_name           in varchar2
)
as
    l_sql      varchar2(4000);
    l_context  apex_exec.t_context;
    l_export   apex_data_export.t_export;
begin
    l_sql := 'select ename, job, mgr, hiredate, sal, comm, deptno from table(get_faceted_search
        || p_app_page_id
```

```

        || ',' || sys.dbms_assert.enquote_literal(p_region_static_id) || '));
apex_debug.info('SQL for CSVDOWNLOAD: %s', l_sql);
l_context := apex_exec.open_query_context(
    p_location      => apex_exec.c_location_local_db,
    p_sql_query     => l_sql
);
l_export := apex_data_export.export (
    p_context      => l_context
    ,p_format      => apex_data_export.c_format_csv
    ,p_file_name   => p_file_name );

apex_exec.close( l_context );
apex_data_export.download( p_export => l_export );
exception
when others then
    apex_exec.close( l_context );
    raise;
end ff_csv_download;

```

ff_csv_download.sql hosted with ❤ by GitHub

[view raw](#)

ページ・デザイナーにてページ番号**3**のファセット検索のページを開きます。

左ペインで**プロセス・ビュー**を開き、**Ajaxコールバック**として新規にプロセスを作成します。

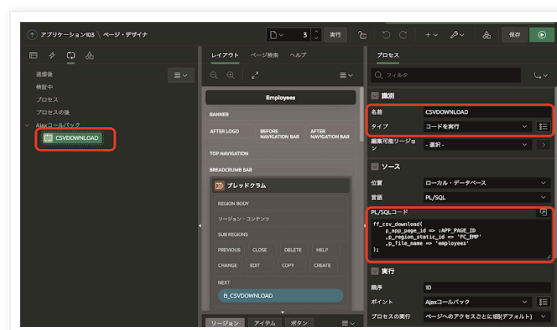
識別の名前を**CSVDOWNLOAD**とし、**タイプ**として**コードを実行**を選択します。**AjaxコールバックのプロセスではAPIの呼出しができません（APEX 22.2時点）**

ソースのPL/SQLコードとして作成したプロシージャを呼び出すコードを記述します。

```

ff_csv_download(
    p_app_page_id => :APP_PAGE_ID
    ,p_region_static_id => 'FC_EMP'
    ,p_file_name => 'employees'
);

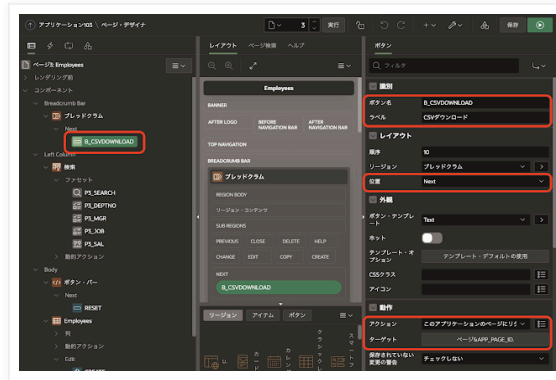
```



左ペインで**レンダリング・ビュー**を開きます。

ブレッドクラムのリージョンにボタンを作成します。

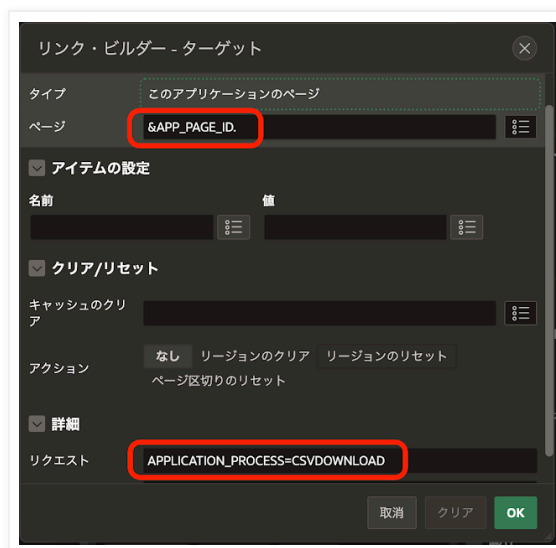
識別のボタン名は**B_CSVDOWNLOAD**、ラベルは**CSVダウンロード**とします。**レイアウト**の位置に**Next**を指定します。



動作のアクションとしてこのアプリケーションのページにリダイレクトを選択します。ターゲットとなるページに&APP_PAGE_ID.を指定します。&APP_PAGE_ID.は現在のページ番号に置き換えられます。詳細のリクエストとして以下を指定します。

APPLICATION_PROCESS=CSVDOWNLOAD

リクエストとしてAPPLICATION_PROCESSにCSVDOWNLOADを渡すことにより、Ajaxコールバックとして作成したプロセスCSVDOWNLOADが実行されます。



以上でアプリケーションは完成です。アプリケーションを実行すると、記事の先頭にあるGIF動画のように動作します。

更新したアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/faceted-search-with-chart-csvdownload.zip>

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 17:24

共有

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.
